仁淀病院からのお知らせ

新任医師のご挨拶および外科診療のご紹介



外科 **北川 隆洋**

初めまして。前任の野田医師と替わり、7月から新しく仁淀病院に赴任しました、 外科の北川隆洋と申します。私は東京慈恵会医科大学外科学講座から参りました。今 までは大学の附属病院や静岡県の基幹病院を担う公立病院などで勤務していました。 いの町の地域医療に携わり、外科医として皆さんの健康に貢献していきたいと考えて います。仁淀病院では毎週月曜および木曜の外来診療、入院患者さんの治療、救急患 者対応や内視鏡検査、手術などを行っています。

今回、広報へ執筆する機会をいただきましたので、仁淀病院での外科診療について 紹介したいと思います。

当院での手術に関して説明します。当院では、鼠径ヘルニア修復術、痔核手術、皮下腫瘍切除術などの比較的短時間で行える手術から、胆石症に対する胆嚢切除術、大腸がん・胃がんの切除手術まで幅広く対応しております。近年は1cm程の傷を何ヵ所かに付けて、そこからお腹の中にカメラと鉗子を入れて手術を行う腹腔鏡下手術が普及してきていて、当院でも大腸がん手術、胃がん手術、胆嚢摘出術、鼠径ヘルニア修復術などで腹腔鏡下手術を行っています。腹腔鏡下手術では手術の傷が小さいため、術後の痛みが開腹手術よりも軽減し、術後入院期間が短縮されるなどの利点があります。入院期間が短くなることや、術後の痛みが軽減することは、患者さんにとって大事なことだと思いますので、腹腔鏡下手術の適応がある方の場合には、患者さんの希望を聞いて、腹腔鏡下手術を選択しています。その他には、急性胆嚢炎や急性虫垂炎などの炎症疾患も対応し、必要に応じて手術を行っています。

外科外来では、腹痛・便秘・下痢などの腹部症状の診療、消化器癌患者の術後経過観察や化学療法(抗癌剤治療)、虫刺症や外傷の診療などを行っています。また、急性胆嚢炎に対する経皮経肝胆嚢ドレナージ(皮膚から針をさして、胆嚢内にチューブを留置する処置)、気胸に対する胸腔ドレナージ(しぼんでしまった肺を膨らますために肋骨の間から胸腔内にチューブを留置する処置)などの処置に加え、内視鏡(胃カメラ等)を使用した総胆管結石の治療や胃潰瘍出血の止血術など、様々な処置・治療を行っています。

簡単ですが、当院での外科診療について紹介しました。外科医としての知識・技術を用いて、皆さんの健康に少しでも貢献したいと考えています。何かお困りのことがあれば、外来でご相談ください。どうぞよろしくお願いします。

